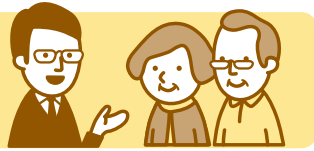


年金相談 Q&A



Q 国民年金に加入していますが、国民年金保険料の納め忘れがないか心配です。なにか良い方法はありませんか。

A 国民年金保険料の納付について、口座振替の手続きをすることにより、毎月自動的に引き落としされます。そのため納期限を気にする必要がなく、納め忘れがなくなります。

申込方法は、口座振替納付申出書に必要事項を記入・押印(口座届出印)し、金融機関に提出してください。マイナポータルを經由して「ねんきんネット」からも手続きが可能です。

また、残高不足で引き落としされなかったときは、翌月分の引き落としの際に、再振替(翌月分と一緒に2カ月分を引き落とし)します。再振替ができなかったときは、納付書が送付されますので、金融機関などの窓口で納めてください。



問い合わせ 保険年金課 ☎22-1118

敬老記念事業(長寿者祝金)について

多年にわたり社会の発展に尽力された高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、敬老理念の普及と高齢者福祉等への関心を高めるために実施しています。

支給対象者 令和6年4月1日現在において、年齢が満77歳、88歳、100歳以上の方で、9月1日現在、住民基本台帳に登録されている方

支給金額

- ▶77歳 5,000円
- ▶88歳 10,000円
- ▶100歳以上 10,000円

※すべて年1回

支給方法 77歳、88歳の方は口座振込にて贈呈します。該当する方へ申請書を9月下旬ごろ郵送します。

100歳以上の方は市職員が敬老の日

に訪問します。



問い合わせ 地域共生推進課 ☎22-3440

最近、読み物と目の距離が遠い。視力は良く、眼鏡とは縁がなかった私もうとう老眼鏡を作った。見えるとはありがたいことだ。私は数年前、脱髓疾患(CIS)というまれな病を患い手足のまひ、感覚異常、排泄機能も止まり寝たきりになった。当時は絶望で涙にくれる日々。幸いにして、治療とリハビリをして周りの方々の愛と応援のおかげで、残るのは少々の後遺症のみ。現在は自力歩行し、手も使える。病院の天井ばかり見ていたころを思うと、自宅で家族と共に生活できる幸せをかみ締めながら、日常を楽しんでいる。

今後もし再発すればまた動けなくなり、視神経に影響すればこの目は見えなくなるそう。そう思えば、老眼であっても「見える」という事実が途端に輝きだす。たとえ再発なく過ごせたとしても、人生の終わりは必ずきてこの目に映すことはなくなる。この体で感じることは当然ながら「今」しかない。

遠出ができるようになった近頃は、出かける先々で新しい出会いや、はたまた懐かしい顔ぶれとの再会が重なる。おしゃべりに花が咲き、楽しい時間共有する。そんなとき、やっぱり私はうれしい体感を伴って、この世界で、このとき、ここで会えるというご縁に感動するのだ。

日常は奇跡の連続だ。今日はどんな体感が私を待っているだろう。まずは、入れた珈琲をゆつくりと味わおう。



羽ノ浦町 田中 檣乃さん

次は羽ノ浦町の西 佳苗さんをお願いします。

日常という奇跡



響すればこの目は見えなくなるそう。そう思えば、老眼であっても「見える」という事実が途端に輝きだす。たとえ再発なく過ごせたとしても、人生の終わりは必ずきてこの目に映すことはなくなる。この体で感じることは当然ながら「今」しかない。

遠出ができるようになった近頃は、出かける先々で新しい出会いや、はたまた懐かしい顔ぶれとの再会が重なる。おしゃべりに花が咲き、楽しい時間共有する。そんなとき、やっぱり私はうれしい体感を伴って、この世界で、このとき、ここで会えるというご縁に感動するのだ。